

産学官連携イベントレポート

イチ押しビジネス交流会 (H22.9/17)

イチ押しビジネス交流会は、中国地域に所在する国立大学法人5大学が協働し、大学研究シーズの首都圏企業・関係機関向けへの PR を行うことで、新たなマッチング先の開拓など新たな産学連携の展開を促進することを目的に実施されました。

首都圏での大学の研究内容の PR の場としては、新技術説明会 (JST 主催) やイノベーションジャパン等のイベントが有名ですが、中国地域の大学が手作りで地域内の協力体制を築いて、成果内容を PR することには、地域内連携による地域性ある魅力の発信、ノウハウの蓄積などの魅力・メリットがあります。当日の状況報告等いただきましたのでご紹介致します。

イチ押しビジネス交流会は、東京都港区芝浦にあるキャンパス・イノベーションセンター東京の会議室にて行われました。各大学がイチ押しする研究内容とあって、全く初めての試みで広報も十分には行き届いて無かったと思われる中、60名もの参加をいただきました。

本行事は、中国地域の国立大学法人5大学が連携して、産学連携活動を行う“5大学連携事業”の一環として、鳥取大学が幹事となり取り組まれました。プログラムは、鳥取大学の岩崎理事・副学長からの主催者挨拶に始まり、各大学イチ押しの研究シーズ1件につき、30分の説明があり、説明の後、研究シーズにご興味を持たれた参加者が、各研究者と個別に面談の時間を持つ形式で執り行われ、全体で6件の個別相談があり、共同研究に繋がる可能性も聞かれました。また全ての発表の終了後、情報交換会が催され、参加者間の交流の輪が広がりました。

(鳥取大学岩崎理事・副学長開会挨拶)

(司会進行を勤められた鳥取大学菅原機構長)



(全体スケジュール)

主催者開会挨拶 鳥取大学 理事(研究・国際交流担当)副学長 岩崎 正美 (14:30~14:40)

① 鳥根大学(14:40~15:10)

発表者:鳥根大学生物資源科学部 浅尾 俊樹 教授

『鳥根大学「植物工場支援・研究施設」での取り組み

—低カリウムメロン・イチゴの生産と電気分解による自家中毒回避技術—』

② 岡山大学(15:10~15:40)

発表者:岡山大学大学院自然科学研究科 鈴木 康一 教授

『次世代アクチュエータ』

③ 広島大学(15:40~16:10)

発表者:広島大学大学院医歯薬学総合研究科 二川 浩樹 教授

『L8020菌と8020ヨーグルトの開発』

④ 山口大学(16:20~16:50)

発表者:山口大学産学公連携・イノベーション推進機構 中村 美紀子 学術研究員

『高効率遺伝子導入を可能にする遺伝子導入エンハンサー』

⑤ 鳥取大学(16:50~17:20)

発表者:鳥取大学大学院工学研究科 伊藤 敏幸 教授

『イオン液体機能を活用する新機能材料の開発』

閉会挨拶(17:20~17:30)

情報交換会(17:40~19:00)

各イチ押しシーズ発表内容の概要は、以下のとおり。

① 島根大学 浅尾先生

- ・METI 補助金で「植物工場研究・支援施設」を整備した。共同研究等を通じて、地域の中小企業者の植物工場参入支援につながることを期待
- ・低カリウムメロン・イチゴ生産について、企業との共同研究を希望
- ・電気分解以外の自家中毒回避技術のアイデアを募集



② 岡山大学 鈴森先生

- ・アクチュエータ研究センターで分野横断的なアクチュエータの研究開発を推進
- ・産業界・異分野との連携を盛んにし、研究・人材育成・実用化の拠点としての機能を強化していく意向
- ・当日のアンケート中に1件の問い合わせがあり、回答



③ 広島大学 二川先生

- ・むし菌、歯周病菌、カンジダ菌に対する抑制効果を持つ乳酸菌“L8020”を発見
- ・四国乳業と共同で虫菌・歯周病予防に効果のあるヨーグルトを開発、(平成 22 年 10 月より)販売



④ 山口大学 中村先生

- ・遺伝子導入技術として最も簡便な化学的方法(リポフェクション法)の遺伝子導入効率を画期的に高めるエンハンサーの発見
- ・本技術の応用・市場化のため、企業との連携を希望



⑤ 鳥取大学 伊藤先生

- ・イオン液体は、不揮発性、再利用可能、触媒保持など多様な特殊機能を保持
- ・この機能を活用した宇宙船用潤滑油などの用途開発がなされている。更なる機能・アイデアを期待

